

コロナ緊急事態宣言・延長！ OBからのメッセージ！

ゆうこう21

郵政産業労働者ユニオン
機関紙・ゆうこう21
NO. 1456号
2020年5月11日（月）
安芸府中支部
発行責任者 杉谷 宏幸

大変な状況下での仕事に敬意を表します！
7日から今月末まで、緊急事態は延長された。これからの季節は、暑さもきびしくなり、マスクをつけるの作業も大変になります。体に気をつけて下さい。以下、OBからメッセージが届きました。

新型コロナウイルス対策の誤りはなぜ生じたのか
昨年末から中国・武漢を発生地とする新型コロナウイルス（COVID-19）が世界中に拡大・蔓延し、新たなパンデミックがこの二十一世紀の歴史に刻印された。今日、発生地中国、近接する台湾、隣接する韓国、遠く離れたNZなどは各国独自の手法で封じ込めに成功したようであるが、スウェーデンのように「集団免疫」獲得戦略でコロナに対処しようとする対極の国は別として、イタリア・スペイン・フランス・ドイツ・

イギリスやアメリカでは感染数・感染死ともに膨大な数に及び、すでに感染が激増したイランをはじめとする中東諸国のとりわけ難民や、中南米・アフリカ諸国での爆発的感染拡大を懸念しつつ、既発国へのその逆流を含めて二次・三次感染がどれほどの爆発力を持っているのかの恐怖心をもって待機中の現在にある。志村けんや岡江久美子の感染死によつて、あるいは「軽症による自宅待機」中に症状が劇症化して亡くなる感染者に恐れをなした日本での経過はいかなるものであったか。

政治的・学閥的・財政的思惑から医学的対処と異なる対策が取られ、結果として死ななくても済んだはずの人々が死に追い込まれた。当初その戦略・戦術は、フクシマと同様に「五輪開催」を至上命題にアンダーコントロール下で制御されているものとして見せるため、「重傷者優先」「医療崩壊防止」の修辭句で覆いPCR検査を極力絞り込み、今次コロナの特徴である「無症状感染」と「ステルス感染の無対応を示した。感染症対策会議に招集された御用学者たちは政府の意に沿った「方針」を出したが、それは旧来の感染症対策を一步も出ない「水際対策」とそこが突破されると

「クラスター対策」で感染症学会特有の感染経路を追う「遮断戦略」に終始している。未だ治療薬もワクチンも未開発とはいえその結果、軽症者が電話連絡のみで自宅に放置されただけでなく、広範な未発症感染者が市中に野放しにされ「市中感染」の爆発や「院内感染」の激発によつてかえつて「医療崩壊」を招いてしまった。新旧の自治体首長はと言えば、例えば都知事は五輪と知事選挙を控えて当選を第一に政治パフォーマンスを繰り広げ、大阪維新はこれまた「力強く決断する知事」を打ち出して宣伝に努めている。笑うことに、「一人10万円」

の給付金を当て込んでこれを企業支援に回し点数稼ぎを意図した広島県知事のアホさ加減は、「職員に給付金回収を命じること

を実施することで感染者は大幅に増えるだろうが、救命のためには感染者をトリアージによって選別し無症状・軽症者も自宅

追い込まれた企業への応分な補償が不可欠であり、これらに関する見解などは指数の制約もあり別途述べる

政治三流の安 倍政治はアウト

沖繩・名護在住
谷本 大岳

郵政広島労働

組合初代委員長

の谷本氏からは、
結成30周年祝
賀メッセージも
お寄せいただい
ていますが、行
事延期で今後発
行の記念誌に掲
載を致します。